

◆鶴嶺西地区 地域に密着したつるにしサマースペース実施

鶴嶺西地区まちぢから協議会では地域に密着した活動を行う事を目的に様々な活動を行っています。

昨年来、夏休み期間の子どもの居場所について、鶴嶺西地区での必要性を今宿小学校・浜之郷小学校と検討した結果、子どもだけで過ごさなければいけない家庭の子どもを対象に必要性ありと判断し、活動計画をスタートさせました。

主催 まちぢから協議会、共催 民児協・地区社協・今宿推進協・浜之郷推進協・プラザ今宿・プラザ浜之郷の団体の協力のもと「つるにしサマースペース」として実施しました。地域企業のアルバックより真空技術の実験教室を行うなど地域に密着した活動となり、参加児童59名・一般ボランティア71名・学生ボランティア31名で活動を19日間行い、延べ901名の子どもたちが参加し、子どもたちは楽しい夏休みを経験したと思います。



また最近、異常気象・地震等が身近な課題となっています。鶴嶺西地区として、皆さんの関心がある時にこそという思いで、9月に身近な防災セミナーを開催するなど地域の皆さんを考えた活動を展開しています。11月には、地域の防災訓練も実施しました。風水害・大地震から命を守る備えを学びましょう。



◆湘北地区 ○湘北地区合同防災訓練（安否確認）（情報伝達） ○地元スーパー店頭での共同募金（年2回）



◎令和6年度の合同防災訓練を「安否確認訓練」「情報伝達訓練」とし、会員が安否確認グッズ（タオル・確認パネル等）を玄関ノブ又は道路から確認できる位置に掲出し、各自治会は掲出状況を集計して、地区防災本部に、トランシーバーで報告する訓練を実施しました。

又、各自治会としては、広域避難場所へ移動する避難路の確認・移動式消火ホースの使用訓練・防災倉庫内の防災備品の展示等々を自治会毎に特色を活かした訓練を行いました。



◎社会福祉事業貢献の一環として、地域ぐるみで共同できる事業として「赤い羽根共同募金」「年末助け合い募金」を市社協の協力を得て、地元スーパーの店頭で行い3年目を迎えております。「ご苦労様」「お疲れ様」の声を励みに今後も継続して行っています。

湘北地区7自治会と4団体（民児協・社協・推進協・体育振興会）で、地域活動を共同で行うことで、新しいまちづくりの礎と「住民の意識の高揚」「地域の絆づくり」に繋げていきます。



まちぢから協議会連絡会

〒253-8686
茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1（茅ヶ崎市役所内）
TEL 0467-84-9781
FAX 0467-84-9782
E-mail chigasaki-machiren@aiores.ocn.ne.jp
ホームページ https://chigasaki-machiren.org/

編集後記

今回は「今年度の活動・取組特集」として、掲載希望のあった7地区の記事を掲載しました。今年度ならではのトピックスやその地区ならではのイベント、力を入れている継続事業の紹介、子どもたちの元気な姿、いずれも「地域のつながり」を大切にする「顔の見える関係づくり」に直結する活動でした。



2025.3

No.11



発行日 令和7年3月
編集・発行
茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
TEL 0467-84-9781

みんなで支え合い、助け合う地域づくりのために

大きな災害があるたびに「地域のつながり」の大切さが身にしみます。先日、テレビで能登半島地震・豪雨で災害にあった人が仮設住宅に入居したときのニュースを見ました。「知っている人が何人ものいるからほっとした。安心して暮らすことができる。」その方はおっしゃっていました。

各地区のまちぢから協議会では、防災や防犯、ごみ集積場所の維持管理への対応、広報紙配布など地域の生活に密着した活動を茅ヶ崎市と協働で行っています。その中でも、最も大切にしている取組が、普段から大人も子どもも地域で安心して暮らしていくことのできる「地域のつながり」を大切にする「顔の見える関係づくり」です。

そのきっかけづくりとして、盆踊りや福祉まつり、体育祭などのイベントを行っており、今回の会報誌では、全13地区の中から7つの地区で行ったイベントなどをご紹介します。なお、お住まいの地域で行われるイベントなどの情報は、左の二次元バーコードから探すこともできますので、まちぢから協議会連絡会のホームページもぜひご覧ください。



防災リーダー研修 共助 けが人搬送

◆茅ヶ崎地区 子ども大会・スポーツフェスティバル

10月20日（日）、梅田小学校にて梅田学区青少年育成推進協議会、梅田地区体育振興会、茅ヶ崎地区まちぢから協議会による子ども大会及びスポーツフェスティバルを開催しました。今年度は従来梅田中学校で行っていた体育祭が中学校のグラウンド改修工事で使用できないことで会場を小学校に変更し、競技内容も従来の地域対抗を減らしたためスポーツフェスティバルと名称を変え開催しました。

当日は午前の部として体育館で子ども大会「JAL折り紙ヒコーキ教室」をこども93名、おとな（スタッフ含む）114名で実施、グラウンドでは梅田地区スポーツ少年団、



スポーツフェスティバル

青少年指導員の協力で野球、バスケットボール及びバレーボールの体験をしました。午後の部は4つの地域に分けての対抗戦（綱引き、玉入れ、大縄跳び）個人の学年・年代別50m走等の競技で大変盛り上がりしました。

次回開催もさらに趣向を凝らして、魅力ある子ども大会・スポーツフェスティバルを開催しますので多くの方々のご参加を期待します。



子ども大会：JAL折り紙ヒコーキ教室



◆浜須賀地区

浜須賀地区四大まつりが勢揃い

2024年度から新しく「はまかんこどものいえまつり」が加わり、浜須賀地区四大まつりが勢揃いしました。神社のない浜須賀地区ですが、ラチエン通りの東側に海岸から国道1号線を超えて菱沼に連なる[神輿道]が通っています。ここが浜降祭の御神輿の通り道だったのでしょうか？
そうした昔話に思いを寄せて、①7月27日(土)16時～「納涼祭」
②8月29日(木)13時30分～「はまかんこどものいえまつり」
③10月6日(日)9時～「自治会対抗体育祭」 ④10月19日(土)～20日「浜須賀会館まつり」を開催しました。

平成25年3月、浜須賀地区まちのちから協議会が設立されましたが、同時に「すこやか赤ちゃんサポート事業」が立ち上



がり、現在も子育ての場として毎月一回開催しています。これに地区社協主催の「敬老のつどい」「ふれあい昼食会」などもあり、お年寄りから赤ちゃんまでの地区イベントが盛んに開催されています。2025年度も楽しい企画が盛り沢山です。



◆海岸地区

海岸地区盆踊り大盛況

「海岸地区盆踊り」を2024年8月18日(日)に東海岸小学校の校庭で開催いたしました。連日の猛暑日が続く中、前日準備、当日準備、開催翌日片付けなど、150人を超す実行委員の皆さんの尽力によって、大盛況のうちに開催することが出来ました。

夕方6時から、菱沼祭囃子保存会による寄せ太鼓で始まり、2,000人近い大勢の方が来場され、21時の終了まで、やぐらの太鼓に合わせて、炭坑節、東京音頭、茅ヶ崎ふるさと音頭、神奈川音頭など、楽しく踊りました。各自治会や、東小推進協、茅小推進協、民児協等の「海岸まちづから」の各団体は、焼きそば、ポップコーン、フランクフルト、かき氷、焼き鳥、飲み物の模擬店を出店しました。また今回は海岸地区のプレンティーズさん、魚卓さん、グルメリアさん、K.OHANAさんに出店していただき、休憩時間には、プレンティーズさんのアイスクャンデーを、子ども達はじめ参加者に無料で配布し大変よろこんでいただきました。



海岸地区には神社仏閣が無いので、まちづから協議会による「盆踊り」が、地域あげでのイベントになります。今後とも、「盆踊り」をより充実させ、茅ヶ崎一番の盆踊りをめざして頑張っていきたいと思います。

開催に当たっての資金面では多くの商店、事業所、個人の方々に、賛助金のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。



◆茅ヶ崎南地区

「あいさつの街茅ヶ崎南」への取り組みが始まりました

茅ヶ崎南地区はラチエン通りから茅ヶ崎駅南口を通り、サザンビーチへと繋がる広い地域です。茅ヶ崎市の都市マスタープランでは3つの地域に分かれ、それぞれの地域の将来像は異なっています。こうした地域特性の中で、住民同士の繋がりや絆を深め地域の一体化を図るため、本年度より「あいさつの街づくり」を進めています。災害発生時に共助を図るためにも、住民同士の絆は不可欠です。

本年度は、あいさつ運動への取り組みが開始されたことを周知するため、「啓発ポスター」「のぼり旗」「ミニのぼり旗」など



を作成しました。高砂コミュニティ・センター、駅周辺の商店やかかり付けのお医者さんなどに設置していただき、「あいさつ運動」の周知を図っています。

また、茅ヶ崎小学校の生徒さんには、筆箱に貼る「あいさつシール」を850枚配布しました。さらに、運動会や防災訓練、市民のつどいやコミセンまつりなどの、まちづから協議会の事業の機会をとらえ、PRに努めています。



◆松林地区

居場所づくり事業

「かんがるうのぼっけ」と「ふくろう塾」

私達子ども部会は、平成28年夏休みにスタートした「ふくろう塾」と同年秋から始まった「おむすび松林」⇒現在は「かんがるうのぼっけ」という地域の居場所づくりを中心とした活動をしています。

間もなく9年目を迎える活動ですが、コロナ禍に於いては多世代交流の場であった「おむすび松林」の開催が困難となり、対象を子育て世代にした「かんがるうのぼっけ」として再スタート。現在も継続しています。今では生まれたばかりの弟妹と一緒に参加するファミリーもいます。笑顔が溢れる居場所です。「ふくろう塾」は中学生の居場所として松林公民館で月2回開催しています。



“塾”とついていますが、夕食をみんなで食べて自習をしたり自由に過ごせる居場所です。夕食作りから参加できるので、料理に興味がある生徒はエプロン持参で参加してくれます。

食材となる野菜を公民館や支援して下さる方の畑をお借りして栽培し、生徒と収穫を楽しむことも。このような居場所づくり事業は、他地区でも様々な形で実施されています。大人にも子どもにも居場所はいくつあっても良いと思います。私達子ども部会の2つの居場所も、皆さんにとっていつまでも温かな場所であり続けます。

